

# 平成 20 年度 特定健康診査実施状況

## 1. 特定健康診査・特定保健指導受診率

		人数	率	
特定健康診査	対象者数	7,406		
	受診者数	2,578	34.8	
	内訳	個別健診	669	26.0
		集団健診	1,468	56.9
		人間ドック	382	14.8
		結果のみ	59	2.3
計		2,578	100	
特定保健指導	対象者数	420		
	受診者数	58	13.8	
	内訳	動機付け対象者	307	
		動機付け受診者	48	15.6
		積極的対象者	113	
		積極的受診者	10	8.8

(資料) 特定健康診査等実施率の目標値 (%)

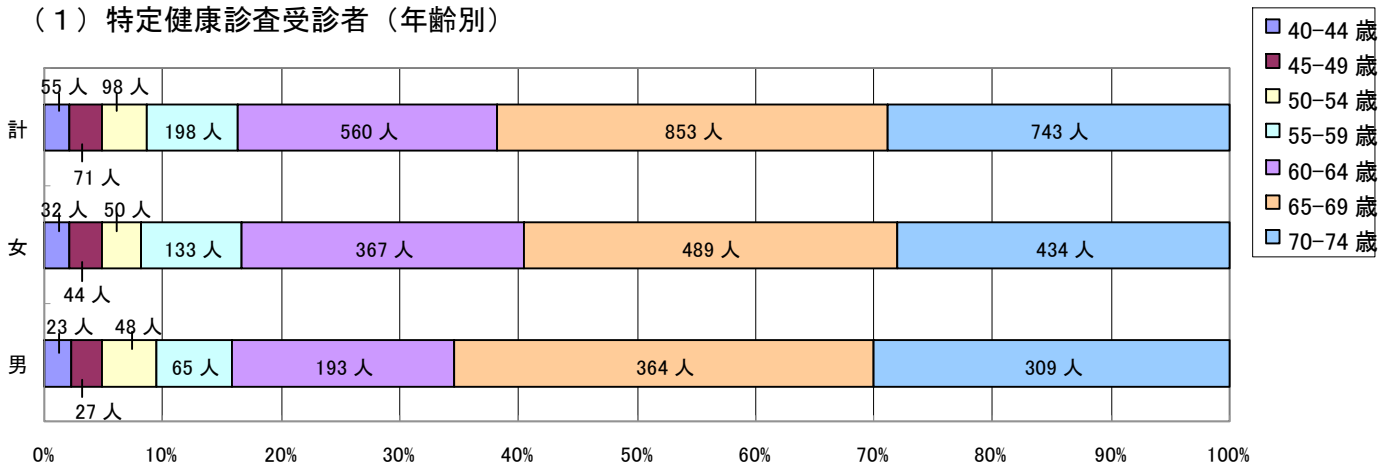
	H20	H21	H22	H23	H24
特定健康診査受診率	25	30	40	50	65
特定保健指導実施率	15	20	25	35	45

瀬戸内市特定健康診査等実施計画より

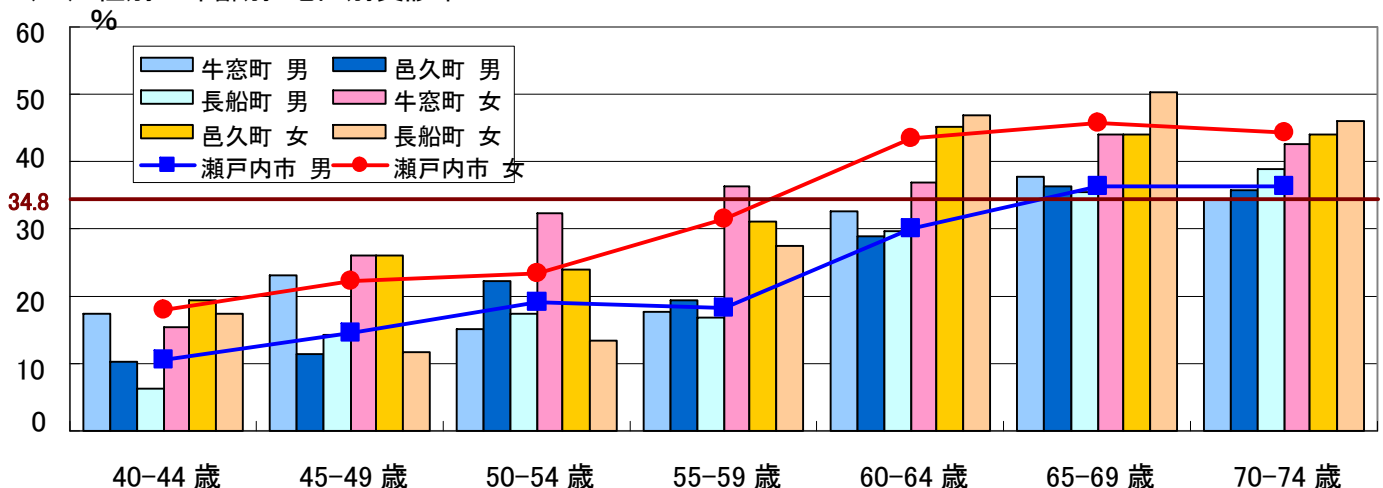
受診率は、特定健診・保健指導ともに、今年度目標値をほぼ達成できたと考えています。  
医療機関で加療中のため、受診しない旨、血液検査結果と併せて届け出てくださった方も 300 名程度いらっしゃいました

## 2. 年齢別・住所地別受診者の状況

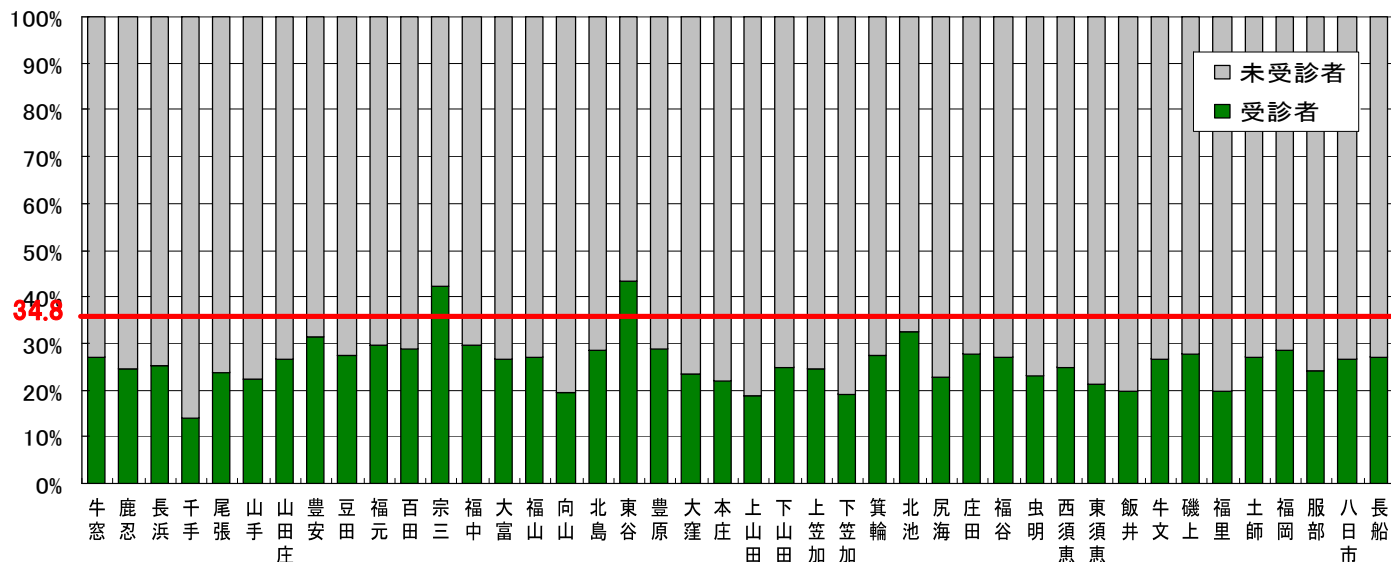
### (1) 特定健康診査受診者 (年齢別)



### (2) 性別・年齢別・地区別受診率



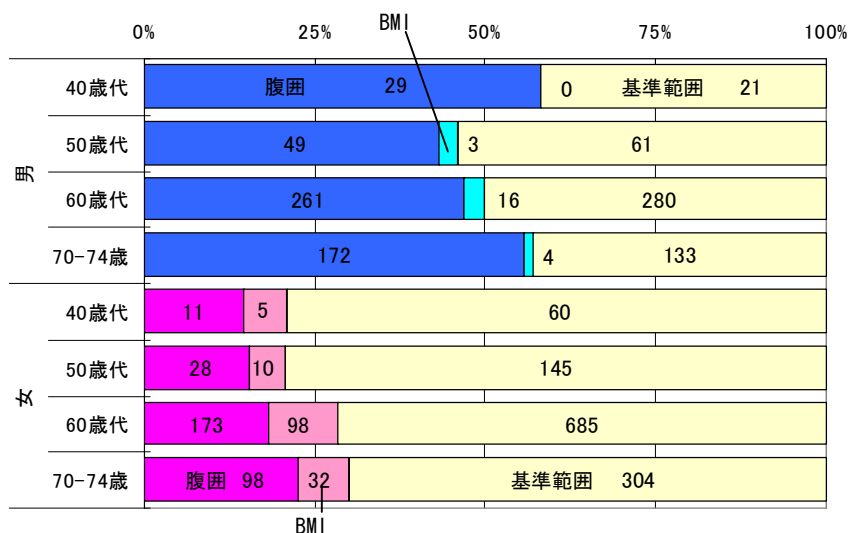
(3) 地区別受診者数



受診率を性別でみてみると、どの年齢層でも男性に比べて女性の方が高くなっています。年齢別では、年齢が高くなるほど、受診率が高くなっています。

3. 検診結果の状況

(1) 肥満の状況



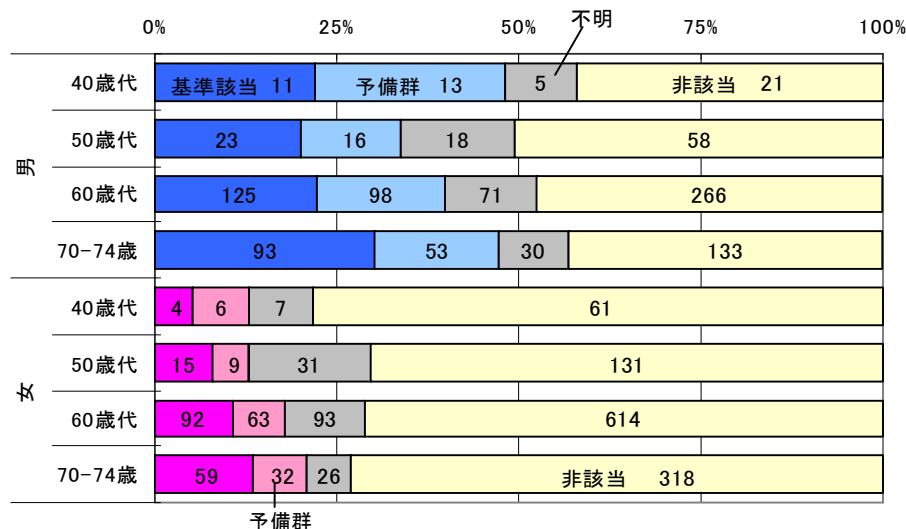
どの年代でも、女性に比べて男性の方が肥満の割合は高くなっています。特に40歳代と70-74歳では、男性全体での発生率を上回っています。また、女性の特徴としては、年齢とともに腹囲は基準範囲内にもかかわらず、BMI 25以上の割合が高くなっています。

\* 凡例の説明

腹囲: 男性 85 cm、女性 90 cm以上かつ BMI が 25 以上

BMI: 腹囲は基準範囲内だが BMI 25 以上  
算出方法…体重(kg) × 身長(m)<sup>2</sup>

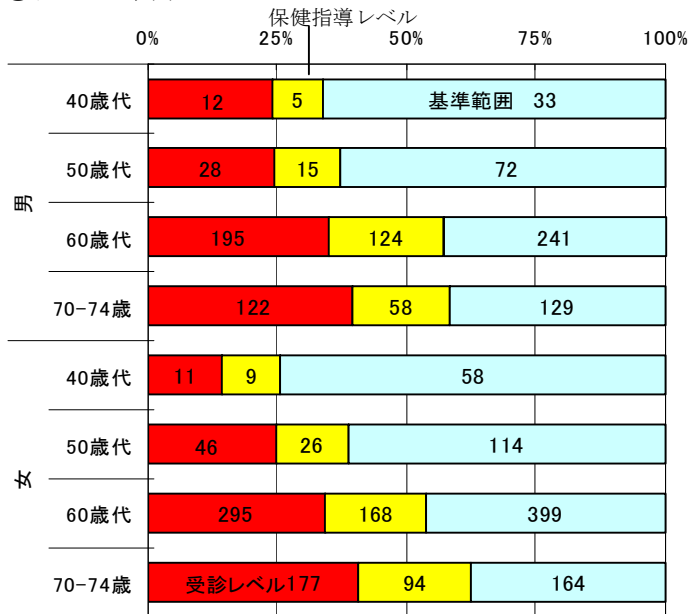
(2) メタボリックシンドロームの状況



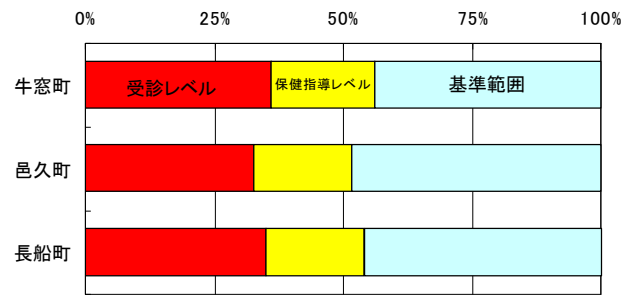
メタボリックシンドロームの割合は、肥満の状況と同じく、どの年代でも、女性に比べて男性の方が高くなっています。特徴として、加齢とともに基準該当者の割合が高くなっていることが分かります。

### (3) 高血圧

#### ①性別・年齢別



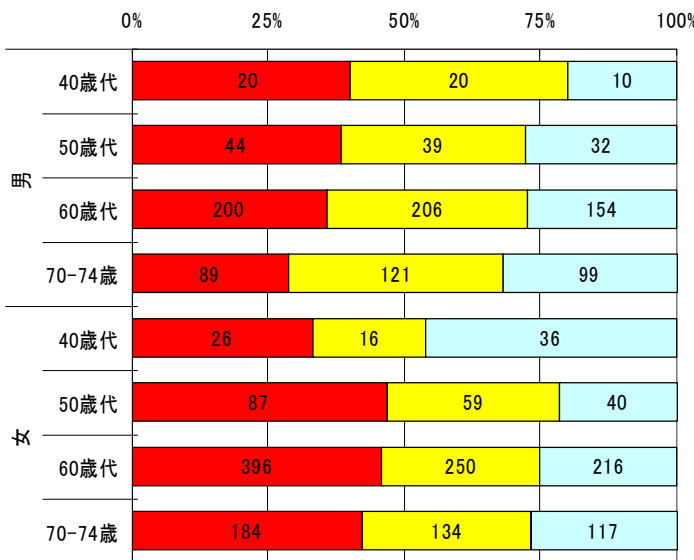
#### ②町別



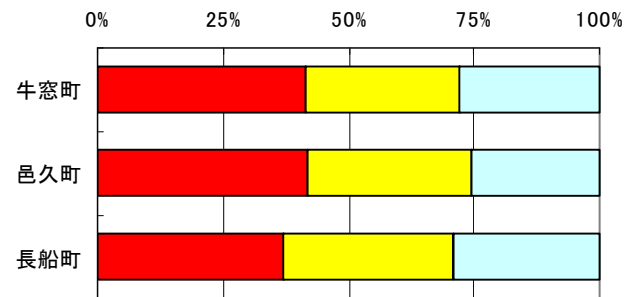
高血圧は、年齢が高くなるにつれ、受診レベル、保健指導レベルとも割合が高くなっています。男女での差はほとんどありません。  
また、現在、高血圧の治療中にもかかわらず、測定値が受診レベルの方も多く見受けられました。

### (4) 高脂血症

#### ①性別・年齢別



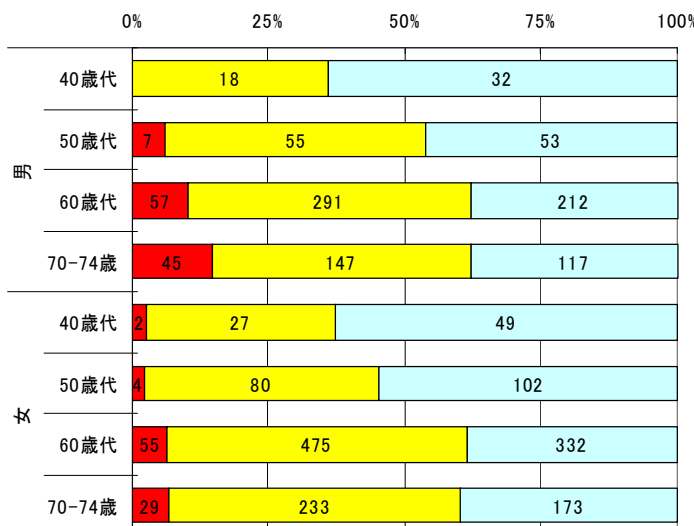
#### ②町別



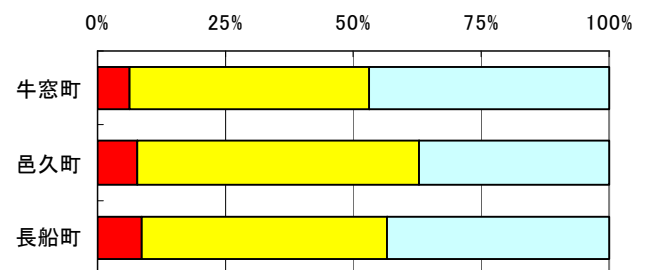
高脂血症は、40歳代を除き、男性より女性の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれ、受診レベルは割合が減少しています。

### (5) 高血糖

#### ①性別・年齢別

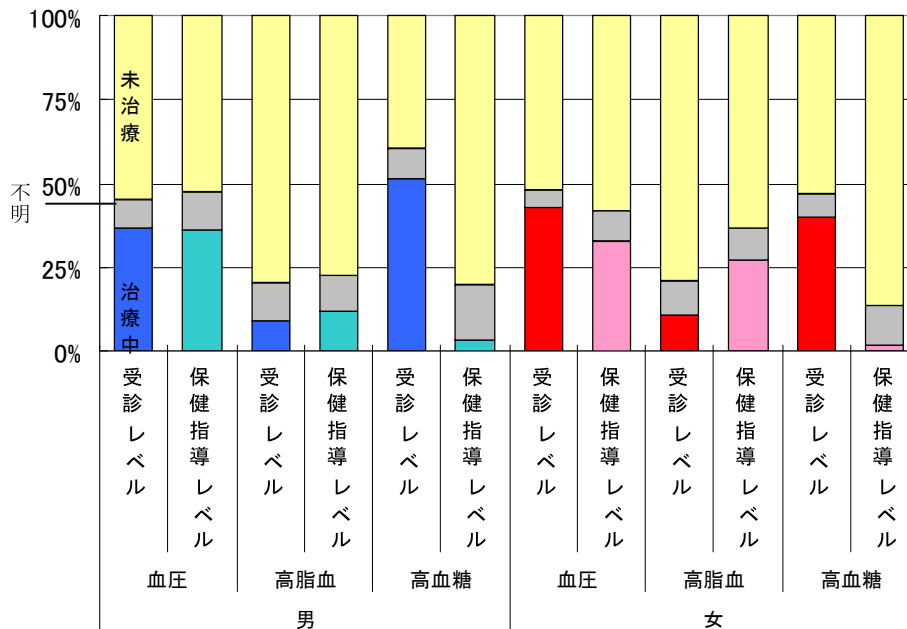


#### ②町別



高血糖は、年齢が高くなるにつれ、保健指導レベル以上の割合が高くなっています。保健指導レベルの割合は、男女で差はありませんが、受診レベルの割合は、女性より男性のほうが高くなっています。

(6) 治療の状況



特定健診での検査値を判定レベル別にみたところ、血圧、高血糖は、男女ともに加療中にもかかわらず、検査値が受診レベルとなっている方が多くみられました。

生活習慣病予防には、薬による治療と共に、生活習慣を改善することも必要と考えられます。

\* 受診レベル、保健指導レベルとは…

特定健康診査では、検査項目別に「受診勧奨判定値」「保健指導判定値」が定められています。

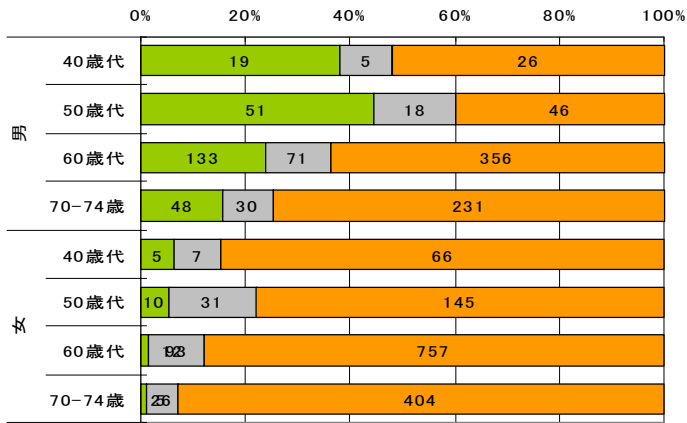
- ・ **保健指導判定値**：生活習慣の改善が必要
- ・ **受診勧奨判定値**：軽度の場合は保健指導を優先し、必要に応じて受診を勧奨

検査項目〈単位〉		基準値	保健指導判定値	受診勧奨判定値
肥満	腹 囲 〈cm〉	男性 85 未満 女性 90 未満	男性 85 以上 女性 90 以上	—
	BMI	18.5~24.9	25 以上	—
血圧 〈mm Hg〉		収縮期 130 未満 拡張期 85 未満	収縮期 130 以上 拡張期 85 以上	収縮期 140 以上 拡張期 90 以上
血糖	HbA1c 〈%〉	5.2 未満	5.2 以上	6.1 以上
血中脂質 〈mg/dℓ〉	中性脂肪	150 未満	150 以上	300 以上
	HDL コレステロール	40 以上	40 未満	35 未満
	LDL コレステロール	120 未満	120 以上	140 以上

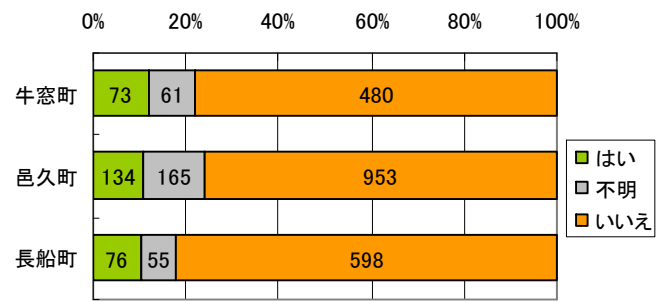
#### 4. 生活習慣の状況

##### (1) 喫煙習慣

###### ①性別・年齢別



###### ②町別

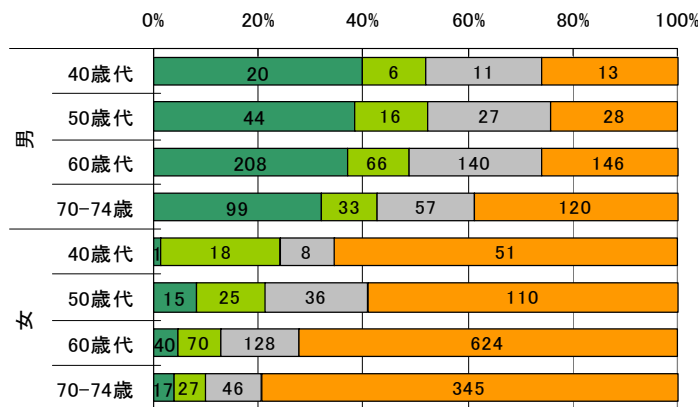


メタボ該当者・予備群の方が、  
宗でない人と比べて喫煙・飲酒習慣があることが分かりました。  
(H20 度特定健診問診より)

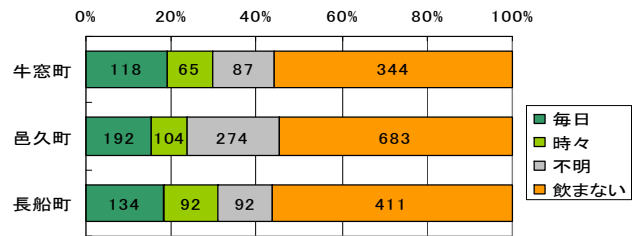


##### (2) 飲酒習慣

###### ①性別・年齢別

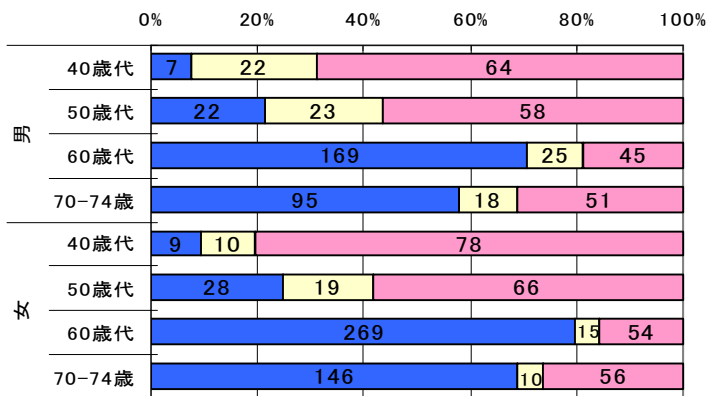


###### ②町別

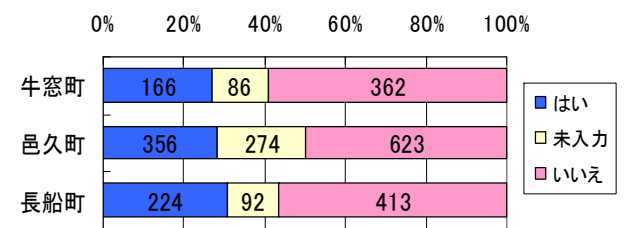


##### (3) 運動習慣

###### ①性別・年齢別

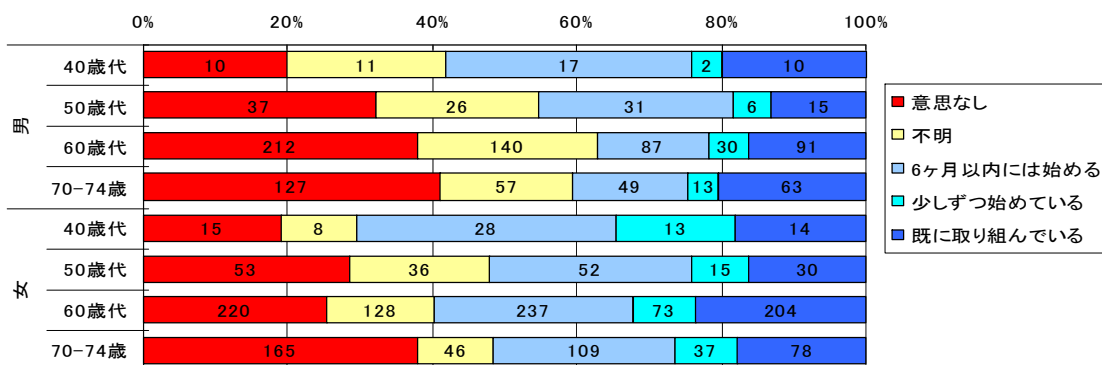


###### ②町別



60-70歳代では、男女とも運動に対する意識が高いことが伺えます。

##### (4) 生活習慣改善に対する意欲



生活習慣改善に対する意欲は、年齢が若い方が高くなっています。悪習慣の改善によって、生活習慣病の発病を予防することが可能となり、また、QOLの維持・向上にもつながると考えられます。

※QOL (Quality of Life: 生活の質) とは、人が充実感や満足感をもって、日常生活を送ることができることを意味しています。